

事業報告書

事業名	アジア太平洋地域におけるグローバル化に対応できる若手ソーシャルワーカーの人材育成と国際交流事業
事業の実施状況	<p>1. ワークショップ「若手ソーシャルワーカーの人事交流プログラム」の開催</p> <p>1) インド [日 程] 2019年9月17日(火) ※18日(水)～20日(金)は国際ソーシャルワーカー連盟アジア太平洋地域会議プログラムへの参加 [場 所] Christ University (インド・ベンガルール市) 他 [参加者] 約70人(インドのソーシャルワーカー、大学院生等) [内 容] 講義、シンポジウム、グループワーク等(国際ソーシャルワーカー連盟アジア太平洋地域会議プログラムを含む)</p> <p>2) スリランカ [日 程] 2020年1月20日(月)～22日(水) [場 所] Janaki Hotel (スリランカ・コロンボ市) 他 [参加者] 約80人(スリランカのソーシャルワーカー(公務員、NGO等)、行政職員、研究者等) [内 容] 講義、グループワーク、施設見学等</p> <p>2. インターネットによる事業実績等の周知・共有及び記録集の作成</p> <p>1) IFSW 及び IFSW アジア太平洋地域のウェブサイト及び Facebook への事業報告の掲載 IFSW 及び IFSW アジア太平洋地域の協力を得て、事業実績をウェブサイト及び Facebook に掲載し、アジア太平洋地域のソーシャルワーカーをはじめ関係者に本事業の成果等を広く周知・共有した。</p> <p>2) 電子メディアによる記録集の作成 事業実績に係る関係資料を収載した CD-R を作成した。</p> <p>3. 企画委員会の設置及び開催地への委員等の派遣 JFSW 構成4団体の関係者による企画委員会を設置し、プログラムの立案、開催地のソーシャルワーカー団体との連絡調整等、プログラム実施支援(統括)、実施後の総括、日本の若手ソーシャルワーカーの派遣調整等を行った。 なお、委員会への出席に係る交通費は所属団体が負担し、遠方の委員においては WEB 会議室システム (Zoom) 等を利用して会議に参加する方法で実施した。</p> <p><日本ソーシャルワーカー連盟構成4団体> 公益社団法人日本精神保健福祉士協会、公益社団法人日本社会福祉士会、公益社団法人日本医療社会福祉協会、特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会</p> <p><企画委員長：1人></p>

	<p>木村真理子（日本女子大学／日本精神保健福祉士協会）</p> <p><企画委員：7人></p> <p>大橋雅啓（東日本国際大学／日本精神保健福祉士協会）</p> <p>伊東良輔（ぱるむ／日本社会福祉士会）</p> <p>平田美智子（日本社会福祉士会）</p> <p>森 恭子（文教大学／日本社会福祉士会）</p> <p>小原眞知子（日本社会事業大学／日本医療社会福祉協会）</p> <p>春見静子（日本ソーシャルワーカー協会）</p> <p>ヴィラーク ヴィクトル（長崎国際大学／日本ソーシャルワーカー協会）</p> <p><事務局：3人></p> <p>坪松真吾（日本精神保健福祉士協会常勤職員／事業・財務担当）</p> <p>小澤一紘（日本精神保健福祉士協会常勤職員／事業担当）</p> <p>大仁田映子（日本精神保健福祉士協会非常勤職員／財務担当）</p>
<p>事業の成果</p>	<p>本事業は、インド（2019年9月）とスリランカ（2020年1月）で開催された国際ワークショップにおける若手ソーシャルワーカーの国際交流事業である。</p> <p>この2か国におけるワークショップは、日本ソーシャルワーカー連盟国際委員会の技術的支援により、インドとスリランカの各国ソーシャルワーカー協会と教育研究者が実行委員会を設置し、企画・運営された。両国の実行委員会には、かつて日本のワークショップに招へいした、あるいは中国のワークショップに講師として招へいした、国際委員会のメンバーとは顔なじみのソーシャルワーカーが活躍した。いずれのワークショップにも、現地の若手ソーシャルワーカー・大学院生を中心に数10人が参加し、活発なディスカッションが展開された。</p> <p>両ワークショップには、日本から公募により5人の若手ソーシャルワーカーも参加し、現地や他の国のソーシャルワーカーとの活発な交流があった。また、インドのワークショップにはマレーシアから、スリランカのワークショップにはカンボジアから若手ソーシャルワーカーを招待し、複数国で交流事業を行った。</p> <p>このように、若者の国際交流に関し、招待された者が、次の年に企画・実行委員として活躍するなど、循環した動きが見えてきたのが、成果であったと思われる。</p>